

厚生労働省「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」 ESG 意見交換会を開催いたしました

本イニシアチブでは、世界的な潮流として ESG 投融資における栄養への関心の高まりに注目し、参画事業者や食環境アライアンス参画自治体の皆様に、ESG に関する視野を広げていくための情報提供を行っています。今回の「ESG 意見交換会」では、金融庁からサステナブルファイナンスの推進に向けた取組、日清食品ホールディングス株式会社から栄養改善の取組について情報提供をいただき、意見交換を行いました。

【実施概要】

開催日時	2026年2月19日（木）11:00～12:00
対象者	イニシアチブ全関係者（有識者、参画事業者、自治体）
開催方法	対面（NTT データ経営研究所会議室）とオンライン（Zoom）のハイブリット開催
参加者数	92人
プログラム	<ul style="list-style-type: none">● 講演<ul style="list-style-type: none">・ サステナブルファイナンスの推進に向けた取組 金融庁 総合政策局 総合政策課 サステナブルファイナンス推進室 課長補佐 川奈野 直樹 氏・ 日清食品グループの栄養と健康への取組 日清食品ホールディングス株式会社 グローバル食品安全研究所 サステナビリティ推進部 次長 遠藤 元 氏● 意見交換 ファシリテーター 株式会社ニューラル 代表取締役 CEO、信州大学 特任教授 夫馬 賢治 氏
講演内容	<p>金融庁の川奈野課長補佐からの講演では、サステナブルファイナンスの概要・最新動向について説明があり、社会課題の解決につながる事業を評価する「インパクト投資」が、インパクト（社会的価値）創出と企業価値向上を両立させる投資手法として重視されている点が示された。また、投資家と事業者が共通の指標でインパクトを測定・共有できる環境整備の必要性や、金融庁における取組として、指標となるインパクトデータベースを整理している状況について紹介があった。</p> <p>また、日清食品ホールディングス株式会社の遠藤次長からの講演では、世界的な潮流として栄養課題への取組が「経営課題」になってきていることを踏まえ、日清食品グループとして「健康と栄養」を最も重視すべきマテリアリティに設定していることや、国内外に対して課題解決に向けた施策を推進している状況が紹介された。</p> <div data-bbox="368 1682 1370 2049"></div>

川奈野 氏（左）、遠藤 氏（右）

意見交換

本イニシアチブの運営委員である夫馬委員がファシリテーターとなり、川奈野課長補佐と遠藤次長、参加者全体で意見交換を実施した。参加者からは、金融庁の講演に関して、健康アウトカムの評価手法やソーシャルボンド投資の事例について質問があがった。また、日清食品ホールディングス株式会社の講演に関して、健康・栄養の取組をマテリアリティとした経緯等について質問があがった。

そのほか、食品関連事業者における健康・栄養の取組の重要性についても議論された。



夫馬 氏



意見交換の様子

【アーカイブ視聴のご案内】

本イニシアチブの参画事業者や関係者の皆様は、開催から1年間、イニシアチブ関係者限定ページ (<https://sustainable-nutrition.mhlw.go.jp/members/login>) にて、当日の様子を記録した動画をアーカイブ視聴することができます。

今後ご参画いただける事業者や関係者の皆様についても、ご参画後にアーカイブ視聴することが可能です。

(ご視聴に関する問い合わせ先)

Email : food_environment@nttdata-strategy.com

受付時間：平日 10 時～17 時

2025 年度 厚生労働省予算事業 健康的で持続可能な食環境づくり推進・広報業務一式

受託事業者 株式会社 NTT データ経営研究所